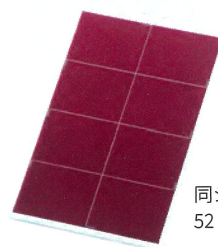
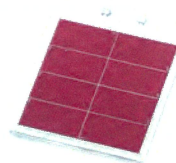


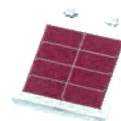
室内光環境発電デバイス「RICOH EH DSSCシリーズ」の製品ラインアップ。



同シリーズの
52 mm × 84 mmサイズ。



同シリーズの
28 mm × 32 mmサイズ。



同シリーズの
17 mm × 19 mmサイズ。

Voice

難しい注文にも迅速かつ的確に伝えてくれる 技術力の高さに感銘を受けています。

私達が所属するビジネスユニット「リコーフューチャーズ」内のEnergy Harvesting (以下、EH) 事業センターでは、「充電のない世界」をつくることを目標に掲げ、固体型色素増感太陽電池 (以下、DSSC=Dye Sensitized Solar Cell) やフレキシブルな有機薄膜太陽電池 (以下、OPV=Organic PhotoVoltaics)、ペロブスカイト太陽電池 (以下、PSC=Perovskite Solar Cells、JAXAと共同開発) 等、次世代太陽電池の開発に取り組んでいます。太陽電池の開発自体は、社内体制の変更前から同じメンバーで長年従事してきたもので、ジオマテックさんのお付き合いも10年以上になります。開発の背景には、元々当社で扱ってきた複写機の中に使われている有機感光体 (以下、OPC=Organic PhotoConductor) の技術が太陽電池の技術構成に非常に類似していること、このOPCのパーツを私達が長期にわたって開発してきたこ

とがあります。

2021年5月、ジオマテックさんにご協力いただきながら、発電量が従来比20%向上の「RICOH EH DSSCシリーズ」を発売しました。さらに9月以降、環境センサやデバイス商品としてもラインアップを拡充することができ、おかげさまで様々なお客様からお引き合いをいただいています。ジオマテックさんには、DSSCを構成するガラス基板の重要なパーツである透明導電膜を作成いただいています。

また、現在試作段階のOPVにおいては、材料構成の相談から真摯に対応いただき、半年間で2、3回の試作を行い、製品にかなり近いレベルのものを仕上げてくださいました。当社の要望に的確に、かつスピード感を持って応えてくださる技術力の高さには、感銘を受けています。

株式会社リコー
リコーフューチャーズ ビジネスユニット Energy Harvesting 事業センター



設計開発グループ
利根 哲也様



設計開発グループ
田中 裕二様



設計開発グループ
新居 遼太様